

487

始物
の事
報立
(三)田舎嬢

すいかに、これと許可すべきであり、夫れも亦異議
ないと思ふ。今の場合、直接相談も出来ず、又
文通も自由でない境遇に在っては、余儀なく独
断的に決定し、相手の親からの直接正式申し込を
受諾した云々の事である。

口数的に先は個人的な大難局に直面する
現状に於て、一家の主人が戦禍の分后を敵の力
によって余儀を蒙る場合、この主人の果敢は、母と
して且つ妻として賢明な果敢であり又尊敬すべき気
構だ。凡そ夫婦は此処迄、理解し合はなくては、
信頼を共に出来てはならぬ。(三)田舎嬢の
心の心から祝する次第だ。戦いに向かひ何ん
だか自分の親属中に起つた戦争の程を感懐さ
るがある。

夜、常例の活動写真のジョリアで上映された。僕
は別に依り、あんな古い映画は見たくないので
ない。他にも七名あつた、賢い人達である。

一月廿日(土)

冷も暖春の如く暖気だ。中外地で細工物に執
中にある諸君はシャブ一枚でやって居る。一昨日は近
来いふ、好い便通がらつたので喜んだが、昨日は無
く今日は若干程度あつた。但し昨今思ふより食
食物にありつかない、これも相づね箱々體を増して
来ん村に思はれる。正午昼飯後、南の方から、Relocation

488

centerに evacuees として収容されている家族の dependents の姓名及び年齢の報告を三十分以内に記載しろと言ってきた。或る家族からの文通として報告せられる筈に由ると、Internment family center は、ネオサウスウースターズの Crystal City に建設されたという事だ。政府は全新収容所に Internees の family と同居をすすめてゐるものと想像される。

中キヤンパや同胞間にも大かねほどの評判だ、僕も其犬の一つは、昔が #1906 に居ると言ふに至っては、畢竟に物騒な次第であらう。だが此際米探おといは敢て怖るゝ堪へない、寧ろ吾々の意志を伝える上に反って便であるかも知れない。

一月三十一日(日)、晴に暖気。

二月

二月一日(日)

今朝の Radio 放送によると、ソロモン島付近に一大海戦あり、米海軍は駆逐艦三隻、巡洋艦三隻合計五隻と失つたと報告され、早朝からの戦勝で同胞の喜悅は大いなるものである。昨今米の側の報道は、ソロモン方面の日軍全滅、日海軍大損害、撤退却却等々で、internees は之等の戦報はいささかも信じないが、何分にも米側の報道